

【第2次札幌新まちづくり計画 平成20年度進行管理評価結果】

『政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街』

重点課題2 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

<施策の基本方針>

「環境首都・札幌」を宣言し、地球温暖化対策の推進や循環型社会の構築を目指して、新エネルギーの活用やバイオディーゼル燃料の普及促進を通じた温室効果ガスの排出削減に取り組みます。また、市民・事業者・行政が一体となって、ごみの発生抑制、再利用、リサイクルの取り組みや、市民一人ひとりが省資源、省エネルギーのための環境行動を実践するまちづくりを推進します。

事業費の進捗率

(H19決算額 + H20予算額) 1,397,926千円 / (計画事業費) 4,413,200千円 : 31.7%

施策別の主な取組内容

19年度(実績)

- 〔施策1〕環境行動を実践する人と街づくり
 - ・「環境首都・札幌」宣言市民会議を設置し、素案を作成。
 - ・さっぽろエコ市民運動等の各種啓発事業を実施。
 - ・環境教育プログラム策定、小学生向け環境副教材改定等。
 - ・円山動物園においてエゾシカ・オオカミ含完成。
 - 〔施策2〕省エネルギー、新エネルギーの普及促進
 - ・建築物環境配慮制度の導入、運用開始(届出数20件)。
 - ・都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助として、札幌駅前熱供給導管ピット等の整備に対する補助実施。
 - ・メガワットソーラー共同利用モデル検討事業の基礎調査実施(検討委員会3回実施)。
 - ・札幌・エネルギーecoプロジェクト発足、新支援制度(融資・補助)構築。
 - 〔施策3〕みんなで進めるごみ減量、リサイクル
 - ・「スリムシティさっぽろ計画」素案を公表し、3ヵ月間のパブリックコメントや223回開催した市民意見交換会などで延べ8,367人の参加を得て、3,848人から意見が寄せられ、この意見を踏まえ計画を変更・追加し、平成20年3月に計画を策定した。

20年度(予定)

- 〔施策1〕環境行動を実践する人と街づくり
 - ・「環境首都・札幌」宣言市民式典を開催し、本市の環境首都を目指す姿勢を世界に向け発信。
 - ・引き続き、さっぽろエコ市民運動等の各種啓発事業を実施。
 - ・環境教育リーダーの追加養成等。
 - ・円山動物園において野生復帰ゾーン(繁殖小屋等)、自然体験ゾーン(ビオトープ等)整備。
- 〔施策2〕省エネルギー、新エネルギーの普及促進
 - ・建築物環境配慮制度の運用、普及啓発等。
 - ・引き続き、札幌駅前熱供給導管ピット等の整備に対する補助実施。
 - ・メガワットソーラー共同利用モデル事業化に向けて詳細検討実施。
 - ・札幌・エネルギーecoプロジェクトによる新規融資・補助を4月より募集開始。
- 〔施策3〕みんなで進めるごみ減量、リサイクル
 - ・「スリムシティさっぽろ計画」を市民へ周知し、「誰がみ」のモデル実験事業や生ごみリサイクルパートナーシップモデル事業等を行う。
 - ・廃食油回収拠点をさらに拡大するとともに、廃食油リサイクルについて普及啓発を行っていく。

市民・企業等との協働の状況

市民との連携、市民参加

- ・「環境首都・札幌」宣言事業：市民会議において、市民が主体となって「宣言文」「さっぽろ地球環境憲章」等を策定した。
- ・札幌市一般廃棄物処理基本計画の改定：パブリックコメント、市民意見交換会などで延べ8,367人の参加を得て、寄せられた意見を踏まえて計画を策定した。

企業等との連携・協働

- ・札幌・エネルギーecoプロジェクト：提携金融機関、事業者から資金協力を得るとともに、制度の運用等にあたっては、協働で実施する。
- ・市民・企業等が参加しやすい環境づくり
- ・札幌市次世代エネルギーパーク事業、メガワットソーラー協働利用モデル検討事業：有識者、事業者等からなる外部委員会を設置し、協働で事業を進めている。
- ・CO₂削減普及推進事業(エコライフ定着関係事業)：「さっぽろエコ市民運動」の一環として市民・企業等が取り組みやすいエコライフポートの提出を呼びかけた。

評価(成果)と課題

〔施策1〕環境行動を実践する人と街づくり

- ・20年6月に環境首都札幌宣言市民式典を開催し、本市の環境首都を目指す姿勢を世界に向け発信した。また、さっぽろエコ市民運動等、CO₂削減のための各種啓発事業を実施したこと、市民の環境意識の醸成につながるなどの成果があった。

〔施策2〕省エネルギー、新エネルギーの普及促進

- ・「札幌市建築物環境配慮制度」、「札幌市エネルギーeco資金融資・補助制度」を策定・制度化した。
- ・「メガワットソーラー共同利用モデル検討事業」については基礎調査等を終えた。
- ・省エネルギー、新エネルギー機器は未だ価格が高いことから、普及促進のためには支援制度の拡充や、誘導施策の実施が必要である。
- ・「スリムシティさっぽろ計画」の策定にあたっては、素案を4ヵ月という長い期間をかけて市民に提示し、できるだけ多くの市民が意見を述べられる機会を設け、多数の意見が寄せられた。寄せられた意見を十分に踏まえて変更・追加を行い、計画を策定した。
- ・新たに策定した「スリムシティさっぽろ計画」で掲げた施策を円滑に実施するために、市民との情報共有等を確実に実施しなければならない。

今後の重点取組

- ・本市では、市民生活と関わりの深い民生(家庭・業務)及び運輸部門からのCO₂排出量が全排出量の大部分を占めていることから、市民一人一人に対し環境行動の定着を図ることが非常に重要である。今後、「さっぽろエコ市民運動」を柱に、学校、企業、市民団体等と連携をとりながら、より積極的に各種事業を展開し、CO₂排出量の削減につなげていく。
- ・市民・事業者向けの省エネルギー・新エネルギー機器の導入支援を拡充する。
- ・新たに策定した「スリムシティさっぽろ計画」で掲げた施策を円滑に実施するために、市民との情報共有等を確実に実施する。

主な達成目標の状況

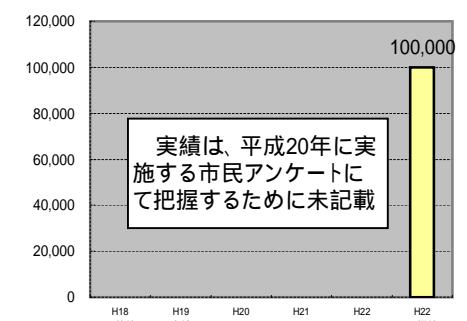
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H19(実績)
「さっぽろ地球環境憲章」の策定	策定(H20)	-	素案の策定
〔世界冬の都市〕市長会議参加都市数	30都市(H22)	29都市(17年度)	22都市
エコライフ行動レポートの集計に基づき試算されるCO ₂ 排出削減量	4万t(H22)	-	約4,544t
学校におけるエコライフ行動レポートの提出枚数(累計)	54万枚(H22)	-	27,794枚
〔落葉から環境保全と地域交流事業〕参加団体数(南区 累計)	15団体(H22)	2団体	5団体
計画期間中の環境活動への参加者数(西区 19年度からの累計)	36,500人(H19~22累計)	24,322人	14,293人
堆肥の散布量(累計)	1,200t(H22)	-	305.4t
オオワシ、シマフクロウの繁殖数	3羽(H22)	-	-
〔円山動物園リニューアル〕基本計画の策定	策定(H19)	-	素案策定
建築物環境配慮制度に基づく総合環境性能評価の提出件数(累計)	300件(H22)	-	20件
札幌駅前通熱供給導管ピット整備	完成(H22)	事業着手	構築工(杭)
〔風力発電〕事業主体となる事業者の選定	選定(H19)	-	選定
西区民・保健センターにおける二酸化炭素排出削減量	システム導入前に比べ50%削減(H22)	-	前システム比47%削減
学校への新エネルギー設備導入件数(累計)	10件(H22)	7件	8件
〔次世代エネルギーパーク〕構想を受けた整備計画の策定	策定(H20)	-	構想策定
新エネルギー設備等の新規融資額	10億円(H22)	-	6百万円
指針に基づく省エネ・新エネ導入検討施設数(累計)	4カ所(H22)	-	1カ所
〔札幌市一般廃棄物処理基本〕計画の改定	改定(H19)	-	改定
〔家庭用〕廃食油回収拠点数	200カ所(H22)	43カ所	71カ所
〔家庭用〕廃食油回収量	7,000t/H月(H22)	1,200t/H月	2,500t/H月
「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への参加者数	20,000人(H22)	10,000人	10,000人
〔定山渓地区生ごみ堆肥化推進事業〕参加事業者の生ごみ分別量	3.2t/日(H22)	1.6t/日	1.9t/日
リユース広場(リユースプラザ)で市民に提供した家具等の個数	1,200個(H22)	965個(白石)	1,023個(白石)
〔中規模事業所〕ごみ減量・処理報告書の提出義務付け対象拡大	実施(H19)	-	一部実施

主な施設・サービスの整備水準

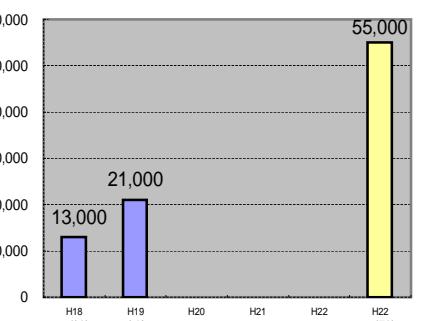
該当なし

成果指標等の動向

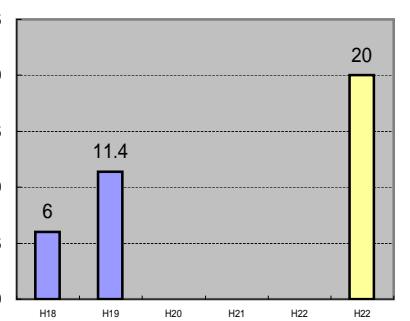
市民の省エネ・省資源行動指標(省エネ・省資源を実践したことによるCO₂削減量)(単位:t)



市内における新エネルギー・省エネルギー機器導入によるCO₂削減量(単位:t)



廃棄ごみ量(平成16年度対比)(単位: %減量)



環境に配慮している事業者数(単位:件)

